

大阪市環境影響評価専門委員会（大気・騒音振動合同部会）会議要旨

- 1 日 時 令和4年6月15日（水）14時00分～16時15分
- 2 開催場所 ウェブ会議の方法により開催
- 3 出席者 専門委員会委員：近藤会長 樋口会長職務代理 道岡委員 山田委員
吉田委員
連絡会委員：環境局環境管理部環境管理課長 他
事務局：環境局環境管理部環境管理課
- 4 議 題 大阪・夢洲地区特定複合観光施設設置運営事業環境影響評価方法書について
- 5 議事要旨
 - ・ 提出された住民意見について事務局から説明を行った。
 - ・ 事業計画、複合的な影響、交通計画、大気質、騒音、振動、低周波音、地球環境、気象、自然とのふれあい活動の場に係る方法書の内容について、審議を行い、指摘・意見を次のとおり取りまとめた。

〔複合的な影響について〕

 - ・ 工事中は、万博やインフラ工事など夢洲関連事業の関係車両の走行が重複することから、交通混雑が懸念されることから、関係機関と連携し、渋滞についても予測を行うとともに、運行時間帯だけでなく、必要に応じて工事工程についても調整を行う必要がある。
 - ・ やむを得ず建設資材等の搬入を夜間に行う場合は、資材搬入車両の走行による保全施設への影響を避けるため、高速道路から此花大橋を通行する走行ルートの徹底を図る必要がある。

〔交通計画について〕

 - ・ 供用後、自動車交通量の増加による環境影響が懸念されることから、ICTの活用による移動の最適化や他の交通機関の拡充等により、その影響を可能な限り低減するよう努められたい。

〔大気質について〕

 - ・ 熱源施設等の導入にあたっては、最新の低NOx機器を選定するなど、周辺環境への影響の低減に努められたい。

〔騒音、振動、低周波音について〕

 - ・ 供用時及び建設機械の稼働に伴い発生する騒音の予測にあたっては、今後、具体化される船舶運航計画を踏まえて船舶の騒音についても予測評価を実施するなど、過小評価とならないよう十分に検討を行い、予測の精度向上に努められたい。

〔地球環境について〕

- ・ エネルギーの利用、建築物の設計、サービスの提供、輸送など、各分野における最先端技術の積極的な導入により、世界の脱炭素化をリードする取組を実践することとし、準備書では具体的な対策内容や削減目標を示すとともに、供用後も更なる削減に取組み、早期にカーボンニュートラルをめざす必要がある。

〔気象について〕

- ・ 予測に用いる上空風データについては、事業計画地と神戸空港では周辺の地形に相違がみられることから、事業計画地により近い観測所を含めた周辺の風向風速データと現地調査結果を比較検討した上で選定する必要がある。

6 問合せ先

環境局環境管理部環境管理課

住所 〒559-0034 大阪市住之江区南港北 2 - 1 - 10 ATC ビル 0's 棟南館 5 階

電話 06-6615-7938